

【子どもニック・ニュースとは？】

「子どもニック・ニュース」は、年2回（夏休み号、冬休み号）発行しており、毎号、子どもたちの国際理解を促し、日々の暮らしと世界とのつながりに気づき、行動へのきっかけとなるテーマを取り上げています。

【今回のテーマ】：「すごろくで学ぼう！やさしい日本語」

現在、名古屋市には8万3千人を超える外国人が暮らしています。さらに4月には外国人労働者の受け入れを拡大する改正出入国管理法が施行され、今後ますます外国人と接する機会は増えていきます。私たちは、文化や言葉の違いを超えて、多様な文化的背景を持った人たちとどのようにコミュニケーションをとればよいのでしょうか。共に暮らしていくためにはどのような心がけが必要なのでしょうか。“やさしい日本語”という一つのコミュニケーションツールを紹介し、その考え方から、多文化共生社会の実現に向けて大切なことは何かを伝えます。すごろく遊びを通して楽しく学べます。



【ねらい】：すごろく遊びを通して、多様な文化的背景を持った人たちとの共生のために必要な心がけについて、家族や友だちと話し合うきっかけを作る

①想像する！

私たちの日々の生活の中で溢れている日本語。日本語が母語でない人たちは、どんな風に受け止め感じているのかを想像してみる。

②学ぶ！

なぜ“やさしい日本語”の考え方が必要なのか、実際にどんなところで使われているのか、どんなことを意識したら伝わりやすくなるのかなど、“やさしい日本語”について学ぶ。

③考える！

どんな工夫をしたら日本語ができない人にも伝わりやすくなるのか考えてみる。また、“やさしい日本語”を考えることで、相手の立場に立って思いやることの大切さに気づく。

【本誌の特徴】

- ◇ **すごろくで楽しく学べる**
外国にルーツのある4年生男児の目線で、困惑や不安な気持ちを体験する。また、小学生にとって身近な場面を取り上げたため、自身の生活の中で接触する日本語とも結び付けやすい。
- ◇ **グループで学べる**
すごろくを通して学ぶため、家族や友だちと一緒にどうしたらわかりやすい日本語になるのか、複数人で話し合いながら学ぶことができる。
- ◇ **より深く学べる**
すごろくに関連したやさしい日本語について裏面に解説すると共に、有用なウェブサイトを紹介した。

【活用方法】

➤ **案①：ワークショップ**

1. 4人のグループを作る。始めに、すごろくの主人公（ヨウくん）の持つ背景について、簡単に共有しておく。
2. すごろくをする。全員がゴールしたグループから、どんなことに気がついたか、考えたことを話し合う。全体で共有する。
3. 裏面の「学ぼう！やさしい日本語」を使い、例を挙げながらやさしい日本語を知る。
4. すごろくの中で出てきた日本語の何がどのように難しいのか、どうしたらわかりやすくなるのか、グループで話し合いながらやさしい日本語に言い換えてみる。発表する。

➤ **案②：発展1**

活用方法案①を実施した後、さらに、実際にまちで見つけたわかりにくい日本語を持ち寄って、グループでやさしい日本語に言い換えてみる。

➤ **案③：発展2**

外国人、高齢者、子ども、障がいのある人、様々な人が暮らすまち。誰にでもやさしいまちとは、どんなまちか。グループでやさしいまちのマップを作って発表する。

次号の参考のため、お読みいただいた感想や子どもたちの反応をお聞かせいただけましたら幸いです。